

平成 26 年度第 2 回有線テレビ放送番組審議会 議事録

用語：委員の発言は「○」、指定管理者の発言は「●」、下呂市の発言は「※」と表記。

番組審議会委員の出席者は 7 名（3 名欠席）。過半数につき成立します。

■議 事

(1) 第 1 回番組審議会質疑応答（報告）

事務局より説明。（資料 P 1～P 2）

以下、協議内容。

特になし。

(2) 平成 26 年度事業経過報告

CCNより説明。（資料 P 3～P 9）

以下、協議内容。

- 毎週の更新を楽しみにしている人が周りには多い。「週刊まめなかな」が定着してきたと思う。良い番組作りのため、様々な意見を出して頂きたい。
- 「下呂へGO」が他局でも放送されている状況で、桜なら3月に放送してこそ旬な情報になり、放送を観た人が下呂に行きたいと思ってもらえる。観光協会としても宿泊補助券などを出すなどして協力していきたい。
- 前回の議事にもあるとおり、早めに出していくことが重要だと思う。
- 最近、熊が出没しているが、早めに市民に情報が提供できると良い。終息したころだと、折角の番組が死んでしまう。また、赤ちゃん紹介コーナーで、誰の子供なのか、親の情報が無いと何処の誰かが解らない。親が解るともっと興味を持ってもらえるのではないかな。
- これから熊も冬眠に入るので、来年は早めに取り組んでほしい。
- 赤ちゃん紹介については、開始前に親の名前の表示について話題に上がったが、個人情報の関係で控えた経緯がある。親の情報公開を敬遠する方もいるので、今後慎重に検討したい。
- 防災関係で、例えば避難勧告が発令されているが、高齢者や防災訓練に参加できないような人は、避難所の場所が解らない人もいる。事前に解るよう避難所の情報を流してはどうか。

- ※ 避難経路や避難場所等を記したハザードマップを各戸配布しているが、活かされていないので利活用を考えたい。
- 雨季になる前に、広報紙面やチャンネル下呂でも取り上げて欲しい。
- 配られたハザードマップを無くした人もいると思うので、テレビ等で見れないか。
- ※ データ放送に載せるのは、データが大きすぎて無理。
- ※ 現在、ホームページをリニューアル中で、災害時はアクセスが集中しても問題ない仕組みを採用し、災害時に解りやすく情報を提供しようと考えているが、高齢者や独居老人がホームページを見るかという点難しい。
- ※ 基本は、早めに避難するのが重要。夜の大雨が想定される場合は、明るいうちに自分が何処に逃げればいいのか確認すること。また、何らかの方法で避難所等の情報を流すことも必要と考える。今年、馬瀬の災害時は、区長に連絡し受け入れ態勢を取ってから避難勧告を発令した。
- 防災の先進地域をモデルとしてテレビで紹介してもらい、他の地域に参考にしていただければ。防災啓発としてテレビを上手く使ってほしい。
- 「週刊まめなかな」で季節感が無い動画が流れていたりするので勘考を。また、「下呂へGO」のモーニング特集をやった効果はあったか。
- 店によって反応があったと聞いている。
- 下呂ネット観たら何か特典が付く等の取組みが良いのでは。
- チャンネル下呂で他局の番組は流れないのか。
- 開局当初は2つ放送していた。(ドラゴンズ応援番組、歌番組)
- 他局で「下呂へGO」が放送されているとのことなので、お互いに提供し合っていると思ったのだが。
- 実はセールスをしている。他局からは、下呂温泉をメインに取り上げて欲しいとの要望が多い。少しでも興味を持ってもらうため、他局の意見を聞かないと販路は広がらない。
- 春先は、スポーツや体育活動で会員募集をおこなう時季であり、趣味のクラブや下呂で活躍している人を紹介しながら会員募集しても面白いのでは。
- 「週間まめなかな」が、テレビの電源を入れると初めから観れるのが理想だが。それから視聴率の判断はどうしてるのか。
- ケーブルテレビの仕組みでは無理。アンケートを取るなどして判断している。実際に昨年アンケートを実施した。
- 通常は、視聴率で番組の良し悪しを判断すると思うので、構成を考えるうえで有効だと思う。

- 先程のセールスしているとの話だが、相手（他局）から費用を貰っているのか。
- 番組によって、ダビング作業費や制作費用を頂くことはある。
- 質問の意図は、御嶽山が噴火して下呂市は大丈夫かといった問合せが多く、宿泊客にも影響が出ている。なぜなら、民法各局の放送を観ると凄いことになっていると思わせるから。地元のケーブルテレビが本当の状況を知ってもらうため、番組制作して他局へ提供できれば正しい情報が伝わると思うが。全国のテレビ局と繋がる仕組みがあれば良いと思う。
- 御嶽山噴火の影響で風評被害が酷かった。今後の課題として考えてほしい。
- 振興事務所からの情報提供が7件と少ない。どれだけの情報を持っているか解らないが、もっと情報を流せると思う。
- 7件とは所定の様式を使って申請を頂いた件数であり、実際には秘書広報課等から情報を頂いている。

(3) 平成 27 年度の取組みについて

以下、協議内容。

- ケーブルテレビ可児(株)を視察して、取材する人員が足りないとのことだったが、災害時なんかで、市民から得た動画をケーブルテレビで流してはどうか。スタッフが足りない分は市民から情報を貰う仕組み作りを提案したい。メ〜テレでは、お天気情報を市民からの情報をピンポイント情報として流している。
- 市民からの投稿動画は、検討したことがある。ただ、市民に事故が有った場合にどうするのか、整理しなければいけない問題が多い。
- ※ 職員が撮影した動画はどうか。
- 以前に問題として纏めた物があるので提出する。
- 農業農村推進協議会では、農地等の共同活用を目的に地域ぐるみでの活動をしている。どれだけでも、参加した方をケーブルテレビで取り上げて貰えるとありがたい。
- 「週間まめなかな」の放送時間が短くないか。交流会館情報（アクティブ）流し過ぎでは。
- 現在、25分番組で、ニュース6～8本の構成で制作している。アクティブのコーナーは、2分間で第4週のみ放送している。
- 地元の話題は観るが、宣伝はそんなに観ない。
- このたび、益田清風高校の女子バレー部が全国大会（春高バレー）に出場となったので、練習風景など取材して頂けるとありがたい。

(4) データ放送システムの改修について

以下、協議内容。

- 欲しい情報が提供されるのでありがたい。
- データ放送を改修することもあり、12月から2月に掛けて加入促進キャンペーンを実施する。
- 何でも宣伝しなければ物は売れない。タイミングよく広報してほしい。
- ※ 各地域での説明会を考えている。